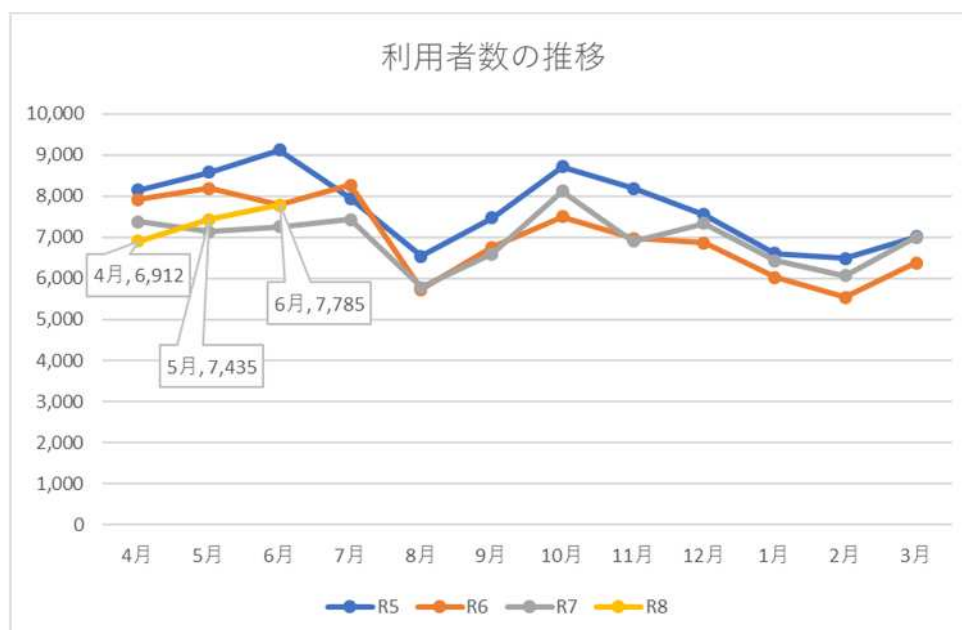


西鉄バス 4-1 系統「宇美～太宰府線」利用促進に向けた取組について

1 路線継続に関する経緯

R4.3.24	西鉄から福岡県に路線廃止申出書が提出され、福岡県バス対策協議会ブロック別協議会が設置。 以降6月末までの間、路線利用者アンケート、域内高校へ意向聴き取り等を経て、当町、太宰府市ともに路線継続の方針を固める。
R4.7.15	宇美町地域公共交通会議に諮り、路線継続を承認 →西鉄、路線廃止申出書の取下げ ※委員から「承認には賛成するが、太宰府市のコミュニティバスと当該路線が重なるルートにおいて、コミュニティバス運賃との調整を行っている区間がある。距離按分で運行負担金を算定することは、宇美町にとって不利ではないか。」とする意見あり。
令和5年度	西鉄バス「宇美～太宰府線」運行負担金を予算化
R6.3.26	西鉄から福岡県に「乗合バスの減便について」申出 ※改正改善基準告示に伴う労働時間の制限に対応するため。 (2024 問題)
R6.6.3	宇美町地域公共交通会議に諮り、減便について承認
R6.10.1	路線の減便実施、JR宇美駅乗入れ開始
令和6～7年度	西鉄・太宰府市と利用促進に向けた3者協議を継続実施
R7.10.1	西鉄バス二日市が本社に統合
R8.4.1	まほろば号と重なる区間の運賃見直し実施

2 利用者数の推移



3 運行負担金の推移

令和 5 年度（R4.10.1～R5.9.30）	2,480,000 円
令和 6 年度（R5.10.1～R6.9.30）	1,797,000 円
令和 7 年度（R6.10.1～R7.9.30）	4,976,000 円

4 利用促進に向けた取組

（１）利用者アンケートの実施

①実施目的

宇美町と太宰府市が運行負担金を支出して運行を継続している「4－1 系統宇美～太宰府線」において、利用者のニーズや運行の課題点を把握することで、利用者の増加につなげるため

②実施方法及び実施日

・実施方法

宇美町、太宰府市及び西日本鉄道株式会社の共同による。

平日（14 便）及び土曜日（7.5 便）に、宇美町と太宰府市の職員がバス全便に乗車し、利用者アンケートを実施。

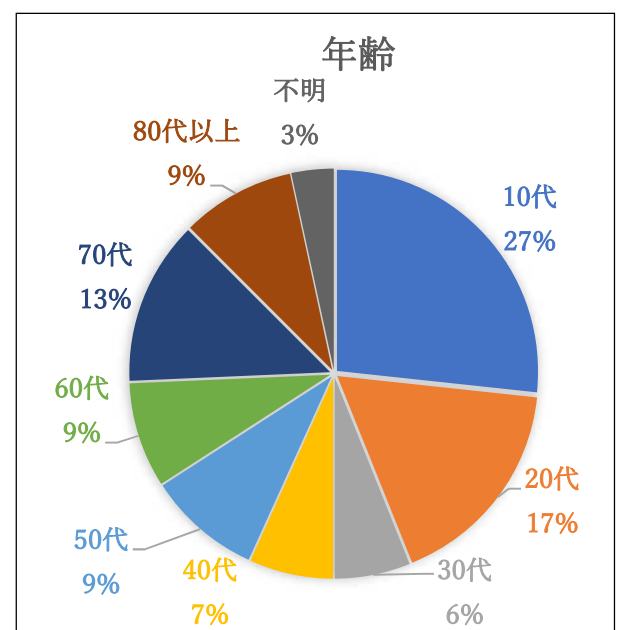
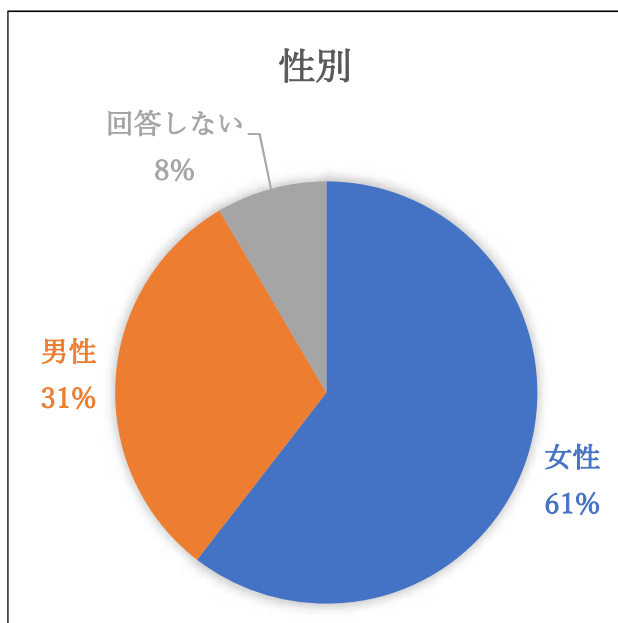
・実施日 7 月 9 日（木）・7 月 11 日（土）

③実施結果

a アンケート提出件数

7 月 9 日（木）	212 件（紙：206 件、オンライン：6 件）
7 月 11 日（土）	84 件（紙：84 件）
合計	296 件

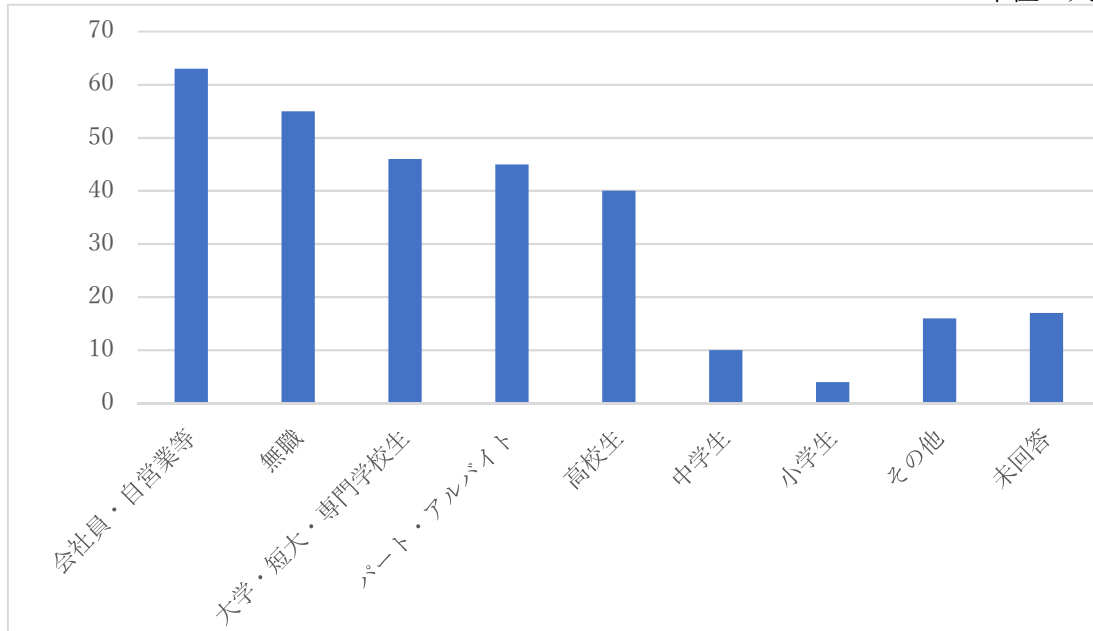
b 性別・年齢



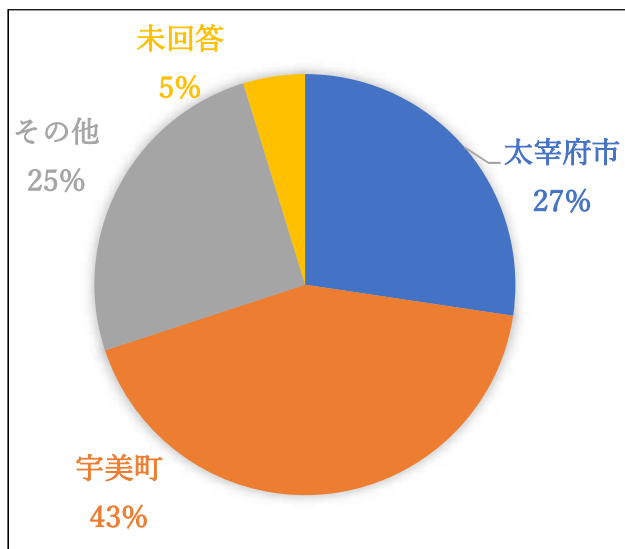
【資料 4】

c 職業

単位：人

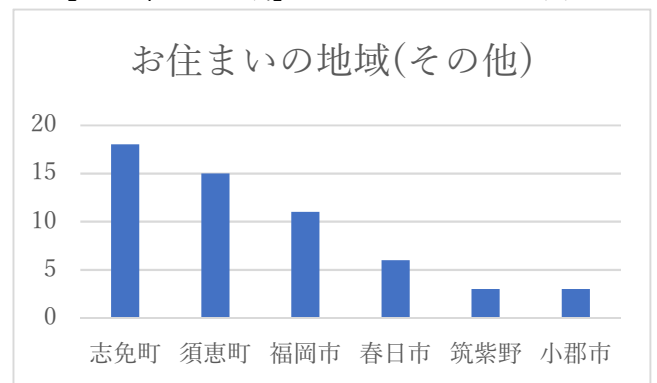


d お住まいの地域

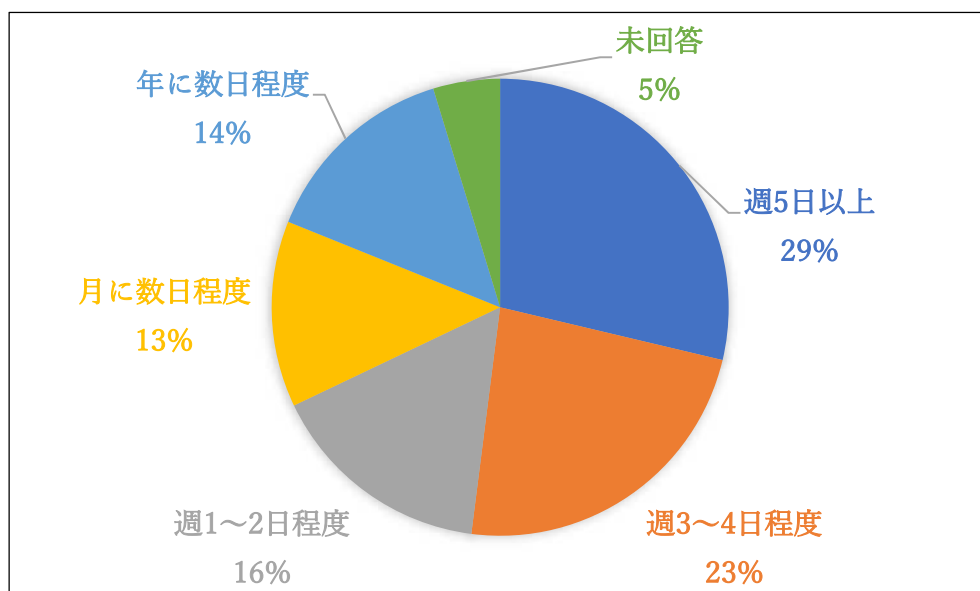


【その他の地域】

単位：人



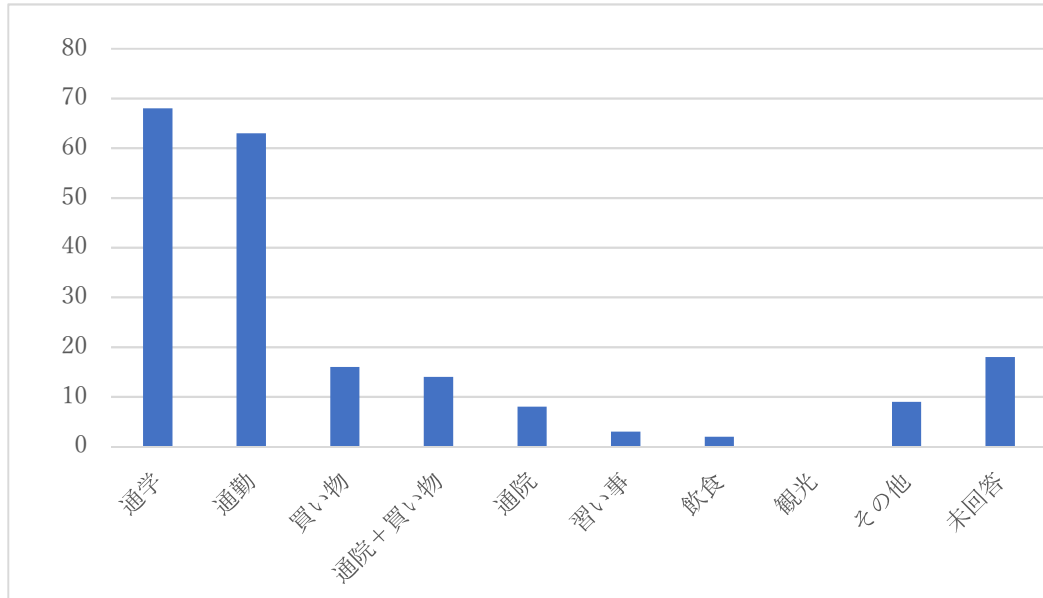
e 利用頻度



【資料 4】

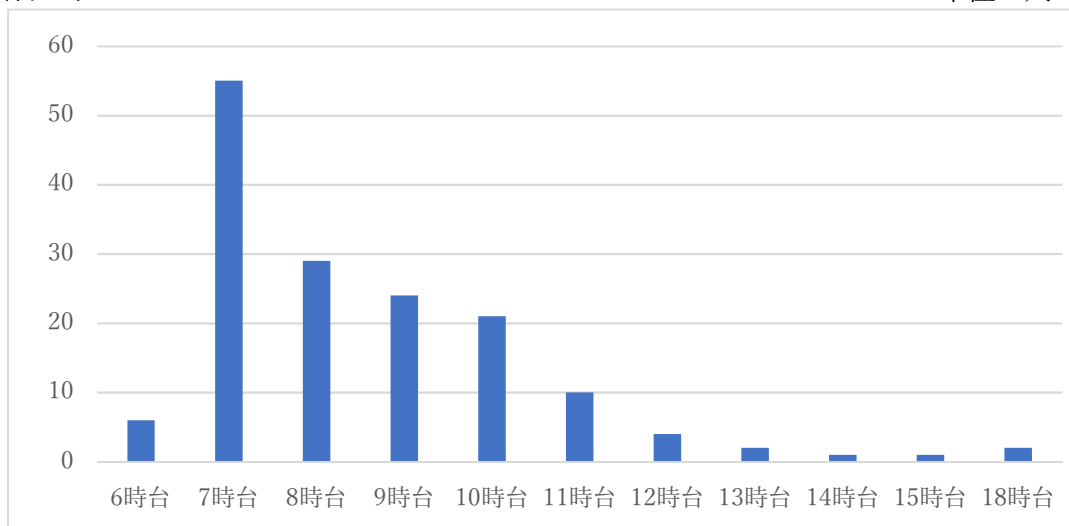
f 利用目的

単位：人



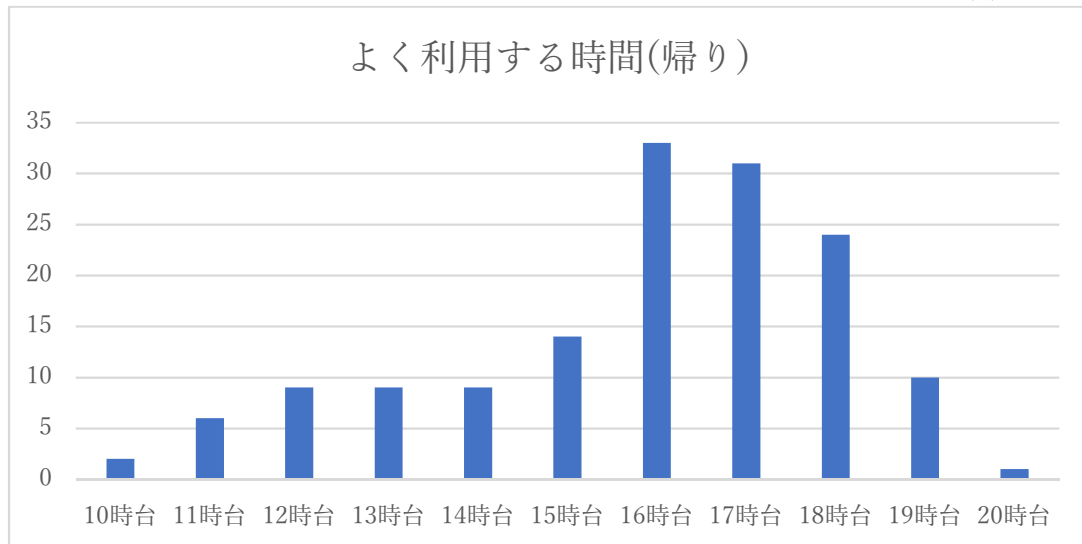
g よく利用する時間
(行き)

単位：人



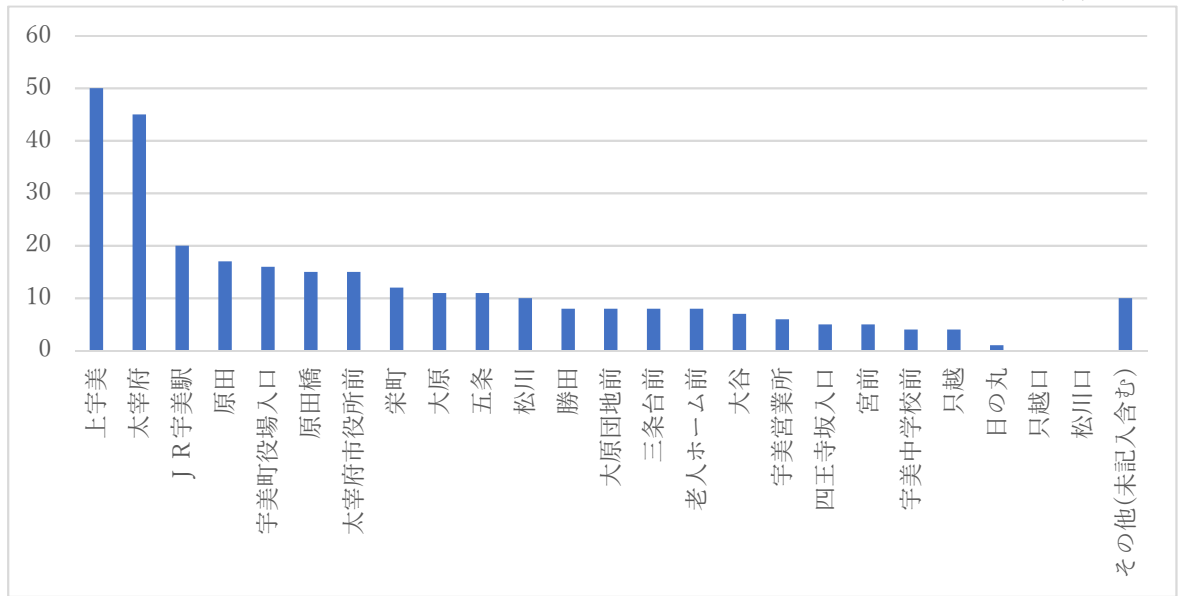
(帰り)

単位：人



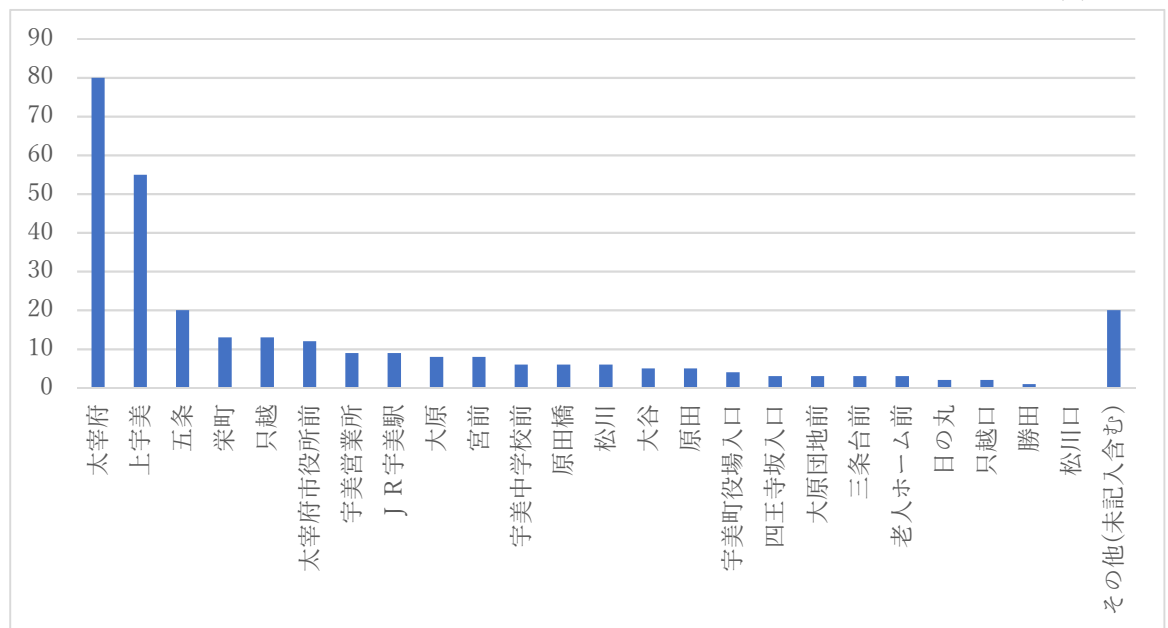
h 利用したバス停 (乗車)

単位：人



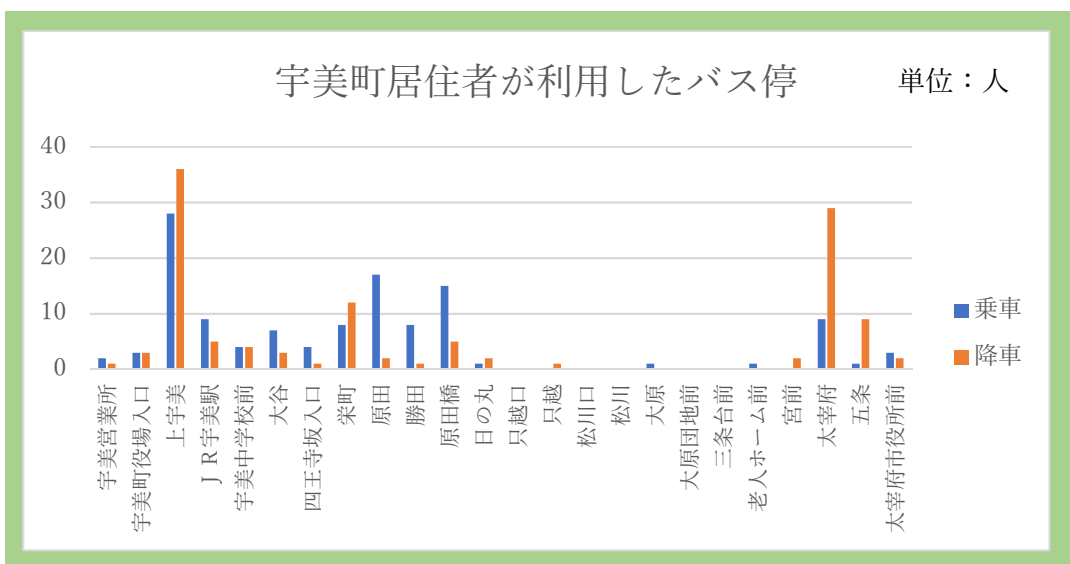
(降車)

単位：人

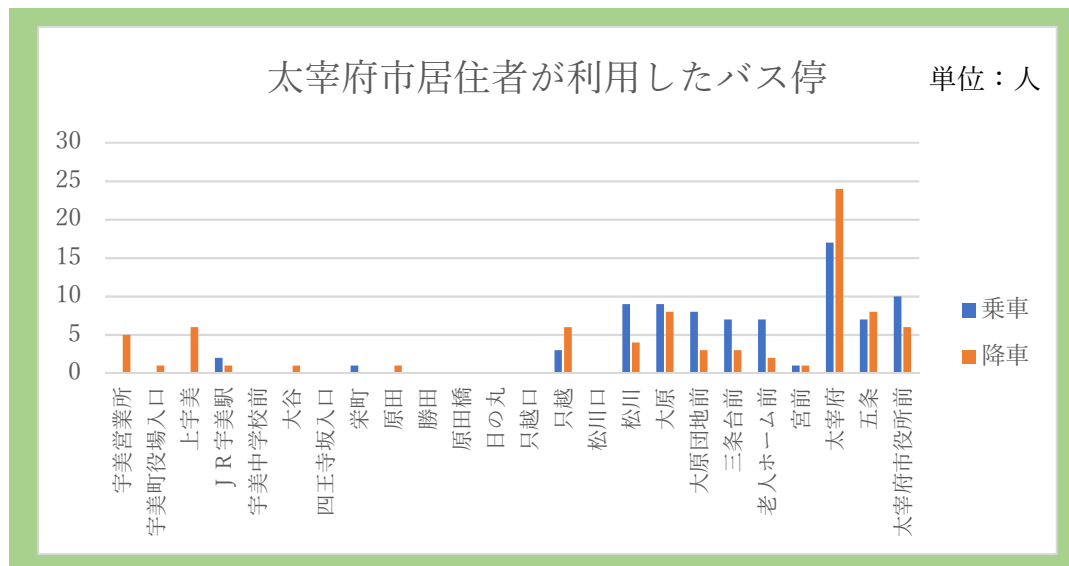


宇美町居住者が利用したバス停

単位：人

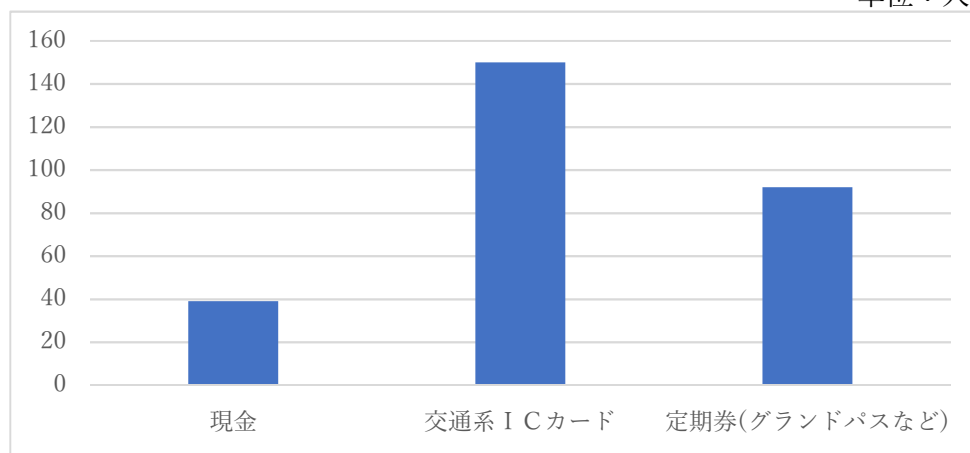


【資料 4】

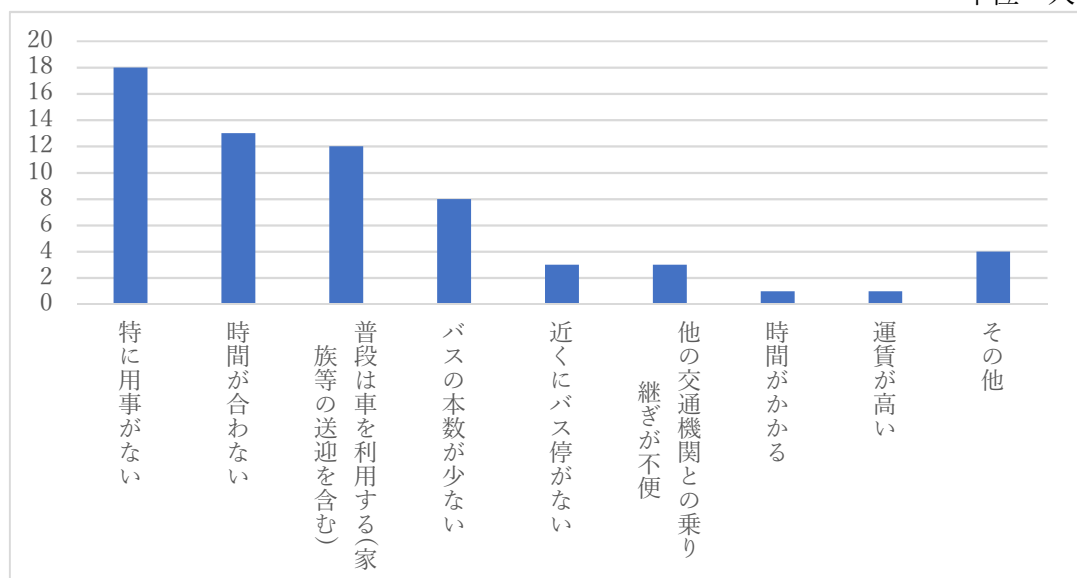


i 支払い方法

単位：人

j 利用しない理由(利用頻度が月に数日程度、年に数日程度の方へ質問)
(1 番の理由)

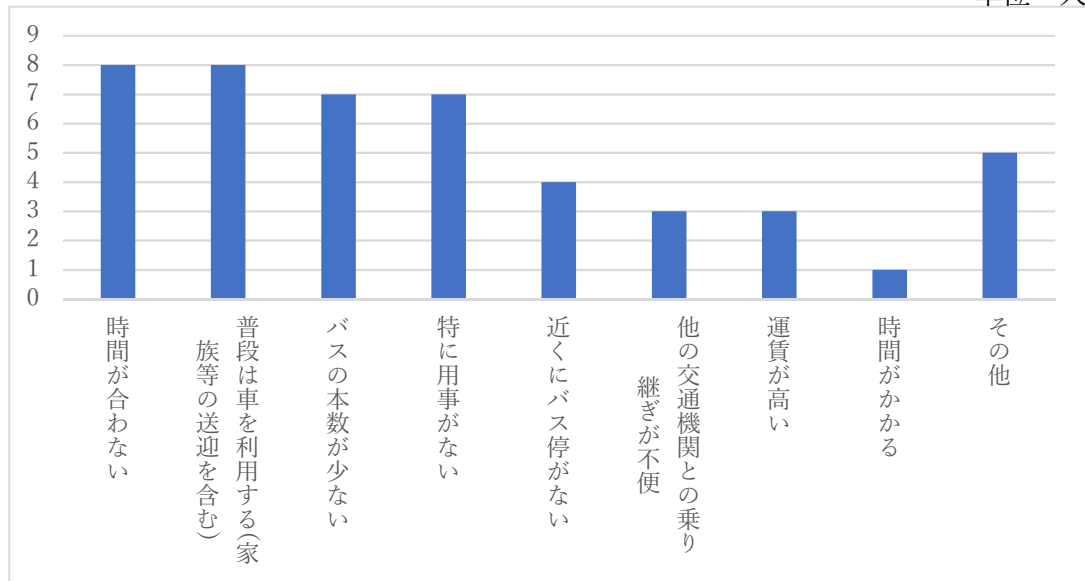
単位：人



【資料 4】

(2 番の理由)

単位：人

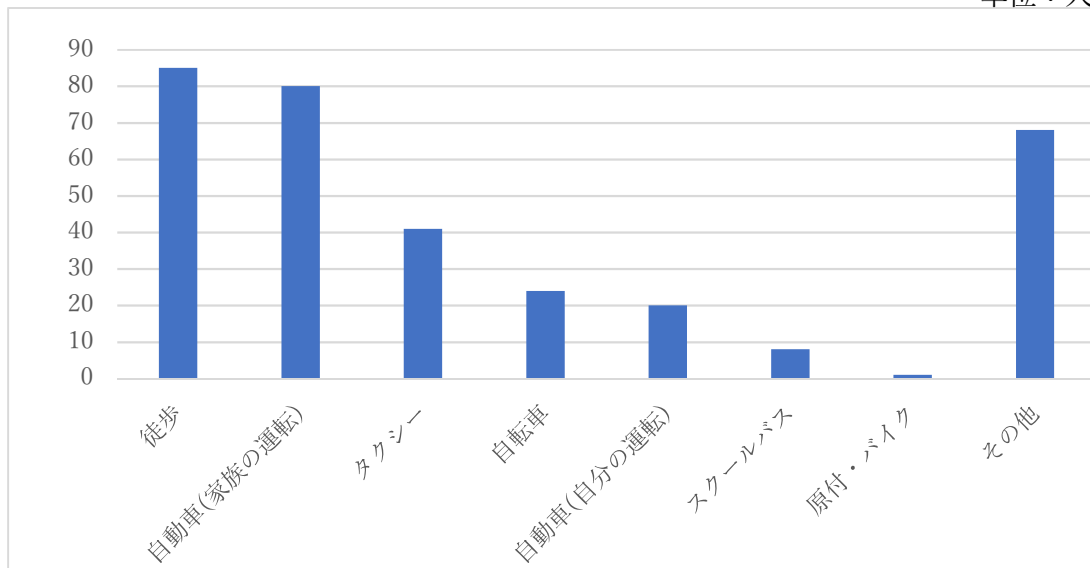


【その他記述】

- ・まほろば号を利用 (3 件)
- ・仕事などでたまたま利用 (3 件)
- ・他の路線バスを利用 (1 件)
- ・スクールバスを利用 (1 件)
- ・自転車を利用 (1 件)

k 4-1 系統がなかった場合の代替りの移動手段 (複数回答可)

単位：人



【その他記述】

- ・その他のバス路線 (2 3 件)
- ・J Rや西鉄電車、地下鉄を使用(福岡市内まで行くため遠回り) (1 9 件)
- ・このバス以外方法がない (1 4 件)
- ・のるーと、まほろば号 (1 3 件)

1 (i) 4-1 系統に対する意見、(ii) 利用促進に向けたアイデア

(i) 4-1 系統に対する意見

○本数を増やしてほしい

- ・ 1 時間に 1 本、30 分に 1 本、朝の時間、夜の時間
- ・ 15 時と 16 時の間に 1 本。16 時 54 分と 17 時 55 分の間に 1 本。朝の 7:30 以降に 1 本
- ・ 大学の授業時間とあわせてほしい、5 限を受けるとバスに間に合わない
- ・ 学校の部活の後のスクールバスだと帰れないときに電車で福岡市の方まで行かないと帰れない

○価格が高い

○遅れやすい

(ii) 利用促進に向けたアイデア

- ・ バス待ち環境の整備、歩道などの道路環境の整備
- ・ 宇美八幡宮や太宰府の PR、神社が好きな人は太宰府→宇美→JR でいろいろな神社を回れて良いと思う、観光客の利用
- ・ 市役所前だけでなく政庁跡とかまでに路線を増やしてみる、西鉄二日市駅までいく
- ・ 出かけることに重きをおけるように(路線にお店があるといい、こどもの遊技場など)
- ・ 短大生のころは毎日使っていたので、大学生向けに路線を変更する等？志免から福女短にきている子もいたので。
- ・ バス路線の周知・広報
- ・ バスを小さくする
- ・ 地域の不動産需要の促進が必要

アンケート結果から、本路線は、通学・通勤など日常生活を支える重要な路線である一方、運行時間帯や本数に対する要望が多いことが確認できた。また、宇美町居住者は、太宰府市居住者と比較して市町域を越えて利用していることもわかった。今後は学校との連携による学生利用の促進や観光需要の取り込み、広報の充実などを重視して、より利用者増加につなげる取組を行う。

(2) 近隣の学校へのアンケート調査の依頼及びチラシ配布について

①実施目的

太宰府市の高校・大学及び宇美町の宇美商業高校に通学している学生のうち、「4－1系統宇美～太宰府線」を利用する可能性のある地域に居住している学生（太宰府市、筑紫野市、宇美町、須恵町、志免町）について、利用実態や、未利用者のニーズなどを把握することで利用者の増加につなげるため。

また、通学中の学生のみならずオープンキャンパスや体験入学に参加する受験生に向けて、通学手段の1つとしてアピールすることを目的にチラシの配布を依頼する。

②実施方法及び実施日

・実施方法

宇美町、太宰府市が共働で各学校を訪問する

・実施日

太宰府市の大学へは、太宰府市を通して依頼予定。

太宰府市の高校についても現在訪問日を確認中。

宇美商業高校へは、7月15日に訪問済み。9月に実施される体験入学に向けてチラシを作成し、配布してもらうことを依頼済み。

(3) ギャラリーバスの実施について

①実施内容

町内保育園の年長児に「一緒にバスに乗りたいな」をテーマにイラストを描いてもらい、それを「4－1系統宇美～太宰府線」バス車内に掲示する。

本年度は、4－1系統沿線の原田保育園、貴船保育園、空とぶくじら幼児園うみ園、宇美タンポポこども園の年長児に依頼を実施。

②実施目的

町内の子どもたちにバスを身近に感じてもらうとともに、子どもが描いた作品をバス車内に掲示することで、家族が実際にバスへ乗車するきっかけを創出し、バス利用の促進を図る。

また、地域の子どもたちが公共交通に親しみを持つ機会を提供し、将来的な公共交通利用意識の醸成につなげる。

③作品掲示期間及び掲示方法

・掲示期間 令和8年9月20日（日）～令和9年3月6日（土）

・掲示方法 上記掲示期間内に3週間を1サイクルとして、1園のギャラリーバスとして運行する。（宇美町、太宰府市4サイクルずつ）

バス車内の広告枠に園児のイラストを掲示し、窓枠には「●●保育園 ギャラリーバス」と掲示する。